

令和7年度「ゆかり市長の出張トーク」 開催結果

皆さんのもとに市長が伺い、市政やまちづくりについて意見交換を行う、令和7年度「ゆかり市長の出張トーク」を開催しました。次のとおり概要をお知らせします。

第1回 令和7年5月28日（水）

団体名 : サロン ド カモ
開催時間 : 10時00分～11時10分
会場 : 旧料亭信濃
参加人数 : 10人
テーマ : 公共施設のトイレの改修、ジェンダー、チョイソコかりんちゃん、
上諏訪駅周辺の利便性の向上 ほか

【主な内容】

■団体から

- ・公共施設のトイレ（上諏訪駅、立石公園、図書館、ヨットハーバー等）のトイレを整備してほしい。トイレがきれいであれば、町全体の印象が良い。
- ・性別欄が「男女」のみのアンケート用紙があったことや道路を歩いている男子小学生が女子小学生に「女は後ろ。危ないから。」と話している場面を見かけたことがあり、ジェンダーの捉え方、学校での指導方法が気になっている。
- ・JRと国道20号線が高架でない。また、JRは単線で、電車の待ち時間が発生するため、解消できないか。
- ・旧城北小学校を、地域の人たちが使える公民館のような形に整備してもらえないか。
- ・市文化センターで開催したイベント等の終了後、車で出ようとする、みんなが一斉に1か所の出入口から出るようになるため、待ち時間が発生する。夜間に開催するイベント等だけでも（現在の出入口の）反対側から流出することができないか。
- ・法務局が上諏訪駅の西口側に移転してから、法務局前のカーブになっている道路を走る車と法務局から出る車が衝突するのではないかと危険を感じている。今後、上諏訪駅西口の整備が予定されているので、安全性を考慮した上で整備をしてほしい。
- ・諏訪湖祭湖上花火大会の開催時は、上諏訪駅の西口に改札ができるが、通常は改札を出てから歩道橋を渡って西口に向かう。上諏訪駅の西口に改札を設置することができないか。
- ・植え込みの下草が気になることがある。ちょっとしたことではあるが、町の印象が変わるので整備できないか。
- ・チョイソコかりんちゃんのテスト運行が始まり利用しているが、1時間以上開けなければ次の予約ができないなどの不便さがある。利便性を向上してほしい。

・「みんなの居場所 ゆめひろ」に関わっているが、利用者が増えないという課題がある。気軽に利用できる場所がもっとあっても良いと思っているので、どのようにしたら利用者が増えるか模索している。

・以前は、スワプラザに駅前市民証明窓口コーナー（かりんちゃんサイト）があり、市役所に出向かなくても、一部の市の手続きができた。常設でなくてもいいので、駅前交流テラスすわっチャオで市の手続きができると良い。7月の参議院議員通常選挙からは、駅前交流テラスすわっチャオで期日前投票ができるようになるので嬉しい。

・諏訪市のいいところを伝えたい。都会に住んでいる子どもに聞いた話だが、マンションで会った小学生にあいさつをしたら、次の日に「子どもに声をかけないでください」と貼り紙をされると話していた。諏訪市ではそのようなことがなく、小学生たちは元気なあいさつをしてくれる。諏訪市に住んで悪いことばかりではない。都会に住む子どもたちは、諏訪市の環境が羨ましいと話している。

・高齢になって車の運転ができなくなったらどうなるだろうと不安がある。

・諏訪市の道路は狭いが、これ以上広げることは難しいとも思う。

・立石公園を訪ねる観光客が多く、渋滞の問題がある。どうしたら解消できるか。

・旧東洋バルヴ諏訪工場跡地は、今後どうなるのか。

・市長は、まとまった休暇を取ることが難しいのではないかと。健康管理なども重要なので、一週間程度のまとまった休暇を取得してはいかがか。

■市長から

・日頃から、様々な立場でお力添えをいただき、感謝申し上げます。

・市長に当選して最初の議会でトイレに力を入れると約束し、改修を進めてきた。行き届いていない場所があることや一度改修をしたものの、現在の標準に合わなくなってきた場所が出てきたと捉えている。

・公共事業は、最少の経費で最大の効果を上げなければならない。危険度、将来性など様々な判断をして事業を進めているので、すぐに結果が見えるわけではないがご理解いただきたい。

・男女共同参画を考えるときには、男女が互いに尊重し合うことが大切ではないかと思っている。何でも男女が一緒であれば良いかというところではなく、選択の自由があると良い。男子小学生の言葉の背景を考えると、女子小学生を守ってあげたいなど何か理由があるかもしれない。もしそうであれば、その気持ちは尊重してあげたい。思いを伝え、分かり合うことが大切ではないか。コミュニケーションの中で思ったことを伝えられないというのは良くない。物は言うが、お互いに分かりあおうという思いを持った「対話」が必要。学校での教育も基本的な考えは変わらないと思うが、教育委員会に伝える。

・JRの高架化、複線化は、かつて議論されたが実現しなかった。高額な事業費を考えると、市が単独で実施できる事業ではなく、東日本旅客鉄道株式会社、国、県も関

係する。現在は、国道20号諏訪バイパスが優先と判断して進めている。

・上諏訪駅西口の整備は、専門家に関わってもらったり、市民グループの声を伝えたりしながら検討委員会で議論を進めている。法務局の出入口付近の危険性をご心配いただいたが、上諏訪駅西口の開発が進むと法務局の移転をお願いすることになる。移転は時間がかかることなので、スムーズにできるよう進めている。

・植え込みの下草は、地域の皆さんが維持管理をしてくださっている場所がある。人手不足の時代なので、これまでどおりの維持管理ができなくなっている。公共施設も集約して、将来の人たちが困らないようコンパクトシティ化を進める。町の新陳代謝が必要であるご理解をいただいている。民生委員や地区の人などのコミュニティ、地域の支え合いが大切。

・かつて諏訪湖だった土地は地盤が緩い。地盤の緩い土地の道路は傷みやすい。道路が狭いので拡幅するとなれば、そこに住む人たちには移転してもらわなければならない。道路や歩道の設計をしてから家が建って町ができたところとの比較となると行政を預かるものとしては辛いですが、一方通行にしたり歩道を広げたり、時代に合わせた工夫をしながらまちづくりをしている。

・チョイソコかりんちゃんは、バス停を利用する公共交通で、タクシーなどの既存のサービスとの兼ね合いも検討して導入した。定時定路線のバスも一部を残す。交通のストレスが少なくなるよう皆さんの声を聞きながら取り組む。

・「みんなの居場所 ゆめひろ」は大切な場所なので多くの人に利用してもらいたい。利用を促進するために遠慮なくアプローチしてほしい。

・駅前交流テラスすわっチャオに生涯学習課の拠点を移転し、期日前投票の投票所を開設するなど機能の拡大ができている。

・子どもたちが知らない人に声をかけられ、付いて行って犯罪の被害に遭うことについて、行政や学校は責任を問われやすい。また、それが加速化して暮らしにくくなっている気がする。周りの目があることによって、犯罪から子どもを守ったり、子どもたちに不審な人と地域の人を教えたりすることができる。都会ではそのことが難しいので、一律で「あいさつをするな」になってしまう。あいさつをしてもらうこと自体は嬉しいことなので、マニフェストに観光バスへの歓迎お手振り運動を入れた。観光バスを見かけたら手を振るだけでいいので参加してほしい。

・旧東洋バルヴ諏訪工場跡地は、文化センターの大規模改修、上諏訪駅西口の整備の次の段階で整備する。町のにぎわいは人がいてこそ。オートメーション化により効率化を図ることができても、にぎわいにはつながらない。人がまばらに拡散した町より、コンパクトな町を目指している。市文化センターを改修して耐震化を図り、地震などの災害で人が集まってきたときにも利用できるようにする。少しずつ進んでいるご理解いただきたい。現在、衣之渡川にかかる橋を封鎖している。衣之渡川の整備は県の管轄になるので、整備をしていただくよう要望し、市文化センターの出入口の道路の件も一体的に考えたい。

・旧城北小学校は取り壊す方針。跡地の活用は、皆さんからの要望を聞いて進める

が、個々の意見を聞くことは難しいので、地区やグループで取りまとめてお寄せいただきたい。

・私の休暇の取得や健康管理のご心配をいただいて感謝申し上げます。労働者として保護される立場ではないが、毎年人間ドックを受けるなど健康管理に努めており、元気に過ごしている。

感想・意見など

開催後に、アンケートで寄せられた感想や意見を抜粋して掲載します。

- ・市長の頑張りを実感でき、同性の視点で話し合えた。
- ・課題・問題への取組や成り行きが良く分かった。
- ・市政を改めて学ぶことができ、楽しい良い機会だった。
- ・時間がもう少し欲しかった。
- ・お互いに分かり合える自由な対話の時間を持つことの大切さが市民に広まってほしい。
- ・市長の人間性に触れる機会を持つことで街の活性化につながると思う。

